

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0101	科 目 名	社会人基礎力講座			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	相原 芳美			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	使用しない			参考書	レジュメ・ワークシート		
成績評価	提出課題 60% 課題内容 30% まとめテスト 20%						

1. 授業概要

振り返りやグループワークを通して、就職に対する意識を高め、就職活動に向けての準備をする。会社の仕組みや企業が求める人材について理解する。

2. 到達目標

マナーやコミュニケーションなどの基礎的な社会性（社会人基礎力）を身に付けることが出来る。

3. 授業計画

後期	
1	本授業の目的の理解・「働くということ」「社会人基礎力」の意味と意義の理解
2	社会人に必要なマナーの理解（挨拶・言葉遣い・第一印象・SNS利用のマナー）
3	コミュニケーション力向上ワークショップ
4	「チームワーク」向上のワークショップ
5	「前に踏み出す力」向上のワークショップ
6	「考え抜く力」向上のワークショップ
7	まとめテスト
8	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 I
9	就職活動の流れとスケジュールの理解・履歴書とエントリーシートの書き方 II
10	「自己理解」のためのワークショップ①（価値分析・モチベーション）
11	「自己理解」のためのワークショップ②（好きなこと・得意なこと）
12	「自己理解」のためのワークショップ③（社会人基礎力の再評価・自己PR）
13	まとめテスト
14	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え I
15	会社の仕組みとハウレンソウ・企業が求める人材・面接に向けての心構え II
16	面接練習・まとめテスト
17	講評

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0102	科 目 名	ビジネス PC スキル I			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	麻生 裕之			履修区分	演習
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	Office2019（実教出版）			参考書			
成績評価	出席 20%、試験 60%（確認テスト 2 回）、発表 20%						

1. 授業概要

Word、Excel、PowerPoint を通してビジネス業務における PC スキルを習得する。

2. 到達目標

Microsoft Office 系ソフトの基本操作および、ビジネス文書や資料の作成ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス、PC の基本操作、ファイル管理、Word 起動と終了、文字の入力
2	ビジネス文書の作成 1 文章の入力、IME、ページ設定、移動とコピー、あいさつ文
3	ビジネス文書の作成 2 文書の作成、文字装飾、フォント、印刷設定、箇条書き、インデント
4	図形操作 1 基本図形、テキストボックス、ワードアート、ページ罫線
5	図形操作 2 図形の装飾、地図の作成
6	表の作成、編集、表を使った文書作成
7	画像と写真の挿入、トリミング、配置、素材の利用、Web 上の画像の取り扱い
8	画像や図形を活用した文書の作成
9	ヘッダーフッター、段組み、ドロップキャップ、検索と置換
10	その他 Word の機能、これまでのまとめ
11	Word 確認テスト
12	Excel 起動と終了、表計算ソフトについて、基本操作、データ入力の基礎
13	データ入力の基礎 1 セル、オートフィル、罫線、装飾、画像・図形の挿入
14	データ入力の基礎 2 スケジュール表の作成、印刷設定
15	基本的なワークシート編集、四則計算、小数点とセルの参照
16	関数を使った計算式 1 (SUM,AVERAGE)、セルの絶対参照、相対参照
17	関数を使った計算式 2 (MAX,MIN,COUNT,COUNTA)
後期	
1	関数の復習
2	条件判定 (IF) と順位付け (RANK.EQ)、
3	検索関数 (VLOOKUP) の利用
4	グラフ (作成、項目の追加、離れたデータを使ったグラフ)
5	Excel の便利な機能、Word と Excel の活用
6	Excel 確認テスト
7	PowerPoint の基本操作、プレゼンテーションの作成、文字修飾、SmartArt の活用
8	1 枚企画書 表の活用と画像の挿入、ワードアート、デザイン
9	アニメーション アニメーション効果、ページ切替
10	その他の機能 (背景画像の設定、テーマの変更、マスターの変更)
11	スライドを使ったプレゼンテーション作成、スライドショーと発表までの流れ
12	発表データ作成 1 発表内容の決定と情報の整理
13	発表データ作成 2 データ作成
14	発表データ作成 3 データ作成
15	発表実習 1
16	発表実習 2
17	発表実習 3、まとめ

科目の教育目標・授業計画 「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0103	科 目 名	ビジネス PC スキルⅡ			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	麻生 裕之			履修区分	演習
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	必修
教 科 書	Office2016（実教出版）			参考書			
成績評価	出席 20%、試験 60%（確認テスト 2 回）、発表 20%						

1. 授業概要

Word、Excel、PowerPoint を活用し、ビジネス業務における実践的なデータ作成スキルを習得する。

2. 到達目標

Microsoft Office 系ソフトの機能を理解し、可読性を意識した文書・資料の作成ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス、文字入力と日本語 IME の活用、Word の基本操作 (復習)
2	読みやすい資料の作成、可読性とデザイン、余白、行間、フォント
3	ビジネス文書の作成、コピーと貼り付けの活用、箇条書き、インデント、段落、印刷設定
4	表組み、罫線、表のスタイル
5	図形操作、図形の装飾、地図の作成
6	写真や画像の挿入と操作、素材の利用、Web 上の画像の取り扱い
7	画像とテキストのレイアウト
8	長文資料の編集 1 (ヘッダーフッター、検索と置換)
9	長文資料の編集 2 (スタイルの設定)
10	資料の作成
11	Word 確認テスト
12	データ入力の基礎、基本操作の復習
13	スケジュール表の作成、レイアウト、印刷
14	四則計算、関数 (SUM、AVERAGE など)
15	データの集計 (並べ替え、項目ごとの集計、集計の追加)、グラフ作成
16	データベース処理 1 (オートフィルター、並べ替え、データの抽出)
17	データベース処理 2 (詳細な条件、複数条件でのデータの抽出)
後期	
1	関数の復習
2	データ処理 (様々な関数の応用)
3	データ処理 2 (LOOKUP 系)
4	データ処理 3 (TEXT 系)
5	グラフの作成、Word との連携
6	Excel 確認テスト
7	プレゼンテーションについて、PowerPoint の基本機能
8	1 枚企画書、文字修飾、配色、SmartArt の活用
9	スライドマスタを使ったデザイン、レイアウト
10	図形の操作、写真の挿入、アニメーション
11	スライド操作、スライドショーと資料作成、発表までの流れ
12	発表データ作成 1
13	発表データ作成 2
14	発表データ作成 3
15	発表実習 1
16	発表実習 2
17	発表実習 3、まとめ

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0104	科 目 名	一般教養講座Ⅰ			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	選択
開講学年	1年	開講学期	前 期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

1. 授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。
--

2. 到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

3. 授業計画

前期			
1	漢字：読み取り・書き取り①	数学：式の計算	読売ワークシート
2	漢字：読み取り・書き取り②	数学：多項式と単項式の乗除	読売ワークシート
3	漢字：形が似ている漢字	数学：乗法公式	読売ワークシート
4	漢字：同音異義語・同訓異字	数学：因数分解	読売ワークシート
5	漢字：敬語表現・熟語	数学：平方根	読売ワークシート
6	漢字：類義語・対義語	数学：1次方程式	読売ワークシート
7	漢字：ことわざ・慣用句	数学：連立方程式	読売ワークシート
8	漢字：三字熟語・四字熟語	数学：2次方程式	読売ワークシート
9	漢字：音読み・訓読み①	数学：2次方程式の活用	読売ワークシート
10	漢字：間違いやすい漢字①	数学：1次関数	読売ワークシート
11	漢字：学習漢字の音訓	数学：関数 $y=ax^2$	読売ワークシート
12	漢字：熟語の成り立ち・読み方	数学：立体の表面積・体積	読売ワークシート
13	漢字：故事成語・名言格言	数学：平行線と角・相似	読売ワークシート
14	漢字：間違いやすい漢字②	数学：三平方の定理	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0105	科 目 名	一般教養講座Ⅱ			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	沢田雄太・麻生裕之			履修区分	選択
開講学年	1年	開講学期	後 期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	プリント			参考書			
成績評価	各課題の成績と出席を総合評価。						

1. 授業概要

基礎学力の向上と就職試験対策を目的として、過去に学習した範囲の数学と漢字の復習を行います。また、新聞記事を読んで設問に答える新聞読解も行います。

2. 到達目標

就職試験の初歩的な教養問題が解ける。

3. 授業計画

後期			
1	漢字：一字漢字の読み・書き①	数学：多項式の乗法・公式	読売ワークシート
2	漢字：一字漢字の読み・書き②	数学：式の展開・因数分解	読売ワークシート
3	漢字：一字漢字の読み・書き③	数学：根号を含む式の乗法	読売ワークシート
4	漢字：熟語の読み・書き①	数学：根号を含む式の計算	読売ワークシート
5	漢字：熟語の読み・書き②	数学：2次方程式とその解	読売ワークシート
6	漢字：熟語の読み・書き③	数学：2次方程式の解き方	読売ワークシート
7	漢字：複数の音読み・訓読み	数学：2次方程式の利用	読売ワークシート
8	漢字：誤りやすい読み・書き	数学：関数 $y = ax^2$ ・グラフ	読売ワークシート
9	漢字：同訓異字・同音異義語	数学：2次関数の変域・変化の割合	読売ワークシート
10	漢字：二字熟語	数学：放物線と直線	読売ワークシート
11	漢字：三字熟語	数学：相似な図形・相似の利用	読売ワークシート
12	漢字：四字熟語	数学：相似な図形の面積比・体積比	読売ワークシート
13	漢字：類義語	数学：円周角の定理・利用	読売ワークシート
14	漢字：対義語	数学：三平方の定理・利用	読売ワークシート
15	漢字：まとめ	数学：まとめ	読売ワークシート
16	期末試験		
17	試験解説、課題提出		

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TV ディレクター学科
科目番号	0106	科目名	海外研修			科目区分	兼任
科目群	教養	担当講師	校長			履修区分	選択
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	実習
教科書	使用しない			参考書			
成績評価	報告書 100%						

1. 授業概要

海外へ10日間ほどの語学研修を実施

2. 到達目標

知識見聞を広め、グローバル社会を理解する。

3. 授業計画

後期	
1	【研修内容】 渡航予定地 未定 研修予定 語学研修時間 9:00～16:00 6時間×5日間 のべ30時間 宿泊 9日間 ホストファミリー宅 単位認定に係わる認定時間 語学研修30時間 文化交流90時間 120時間 学校としての成績評価 評価は報告書内容による 学校としての単位認定基準 帰国後3週間以内に報告を提出した者 認定単位2単位

科目の教育目標・授業計画「2023年度」					学 科 名	TV ディレクター学科	
科目番号	0107	科 目 名	日本語講座 I		科目区分	専任	
科 目 群	教養	担当講師	小野 恭子		履修区分	選択	
開講学年	1	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	読解、聴解プリントおよびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題（プロジェクトワークを含む）20%、関心・意欲・態度 20%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。
オンライン教材での予習を前提とした授業です。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション、Can-do 自己評価チェック、レベルチェックテスト（言語知識・読解）
2	予習：読解のコツ、漢字 W1、ミニ講座 1 自他動詞、レベルチェックテスト（聴解）
3	予習：読解第 1 回、漢字 W2、ミニ講座 2 複合動詞①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
4	予習：聴解第 1 回、漢字 W3、ミニ講座 3 複合動詞②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
5	予習：読解第 2 回、漢字 W4、ミニ講座 4 動詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
6	予習：聴解第 2 回、漢字 W5、ミニ講座 5 い形容詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
7	予習：読解第 3 回、漢字 W6、ミニ講座 6 な形容詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
8	予習：聴解第 3 回、漢字 W7、ミニ講座 7 副詞、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
9	予習：読解第 4 回、漢字 W8、ミニ講座 8 対義語①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
10	中間テスト（JLPT 模試）
11	予習：聴解第 4 回、漢字 W1-2、ミニ講座 9 対義語②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
12	予習：読解第 5 回、漢字 W3-4、ミニ講座 10 同義語、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
13	予習：聴解第 5 回、漢字 W5-6、ミニ講座 11 擬音語・擬態語、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
14	予習：読解第 6 回、漢字 W7-8、ミニ講座 12 カタカナ語、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
15	予習：読解第 6 回、ミニ講座 13 慣用句、ピア・リーディング ディクテ、ミニ講座タスク、スピーチ発表
16	期末テスト、Can-do 自己評価チェック
17	追再試、補講

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0107	科 目 名	日本語講座Ⅱ			科目区分	専任
科 目 群	教養	担当講師	小野 恭子			履修区分	選択
開講学年	1	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	「日本語能力試験ドリル&模試」他			参考書	読解、聴解プリントおよびデジタル教材		
成績評価	試験 50%、小テスト 10%、課題（プロジェクトワークを含む）20%、関心・意欲・態度 20%						

1. 授業概要

能力別クラスで日本語の言語知識（漢字・語彙・文法）を理解・習得し、読解・聴解等の応用力を養う。オンライン教材での予習を前提とした授業です。

2. 到達目標

・能力別クラスでの Can-do リストに沿って、日本語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）を伸ばし、総合的な日本語力を身に付ける。

3. 授業計画

後期	
1	予習：読解第1回、語彙 W1、ミニ講座1 接続表現、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
2	予習：聴解第1回、語彙 W2、ミニ講座2 文末表現①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
3	予習：読解第2回、語彙 W3、ミニ講座3 文末表現②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
4	予習：聴解第2回、語彙 W4、ミニ講座4 こと・もの、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
5	予習：読解第3回、語彙 W5、ミニ講座5 わけ・ところ、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
6	予習：聴解第3回、語彙 W6、ミニ講座6 条件、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
7	予習：読解第4回、語彙 W7、ミニ講座7 否定表現、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
8	予習：聴解第4回、語彙 W8、ミニ講座8 敬語①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
9	予習：読解第5回、語彙 W1-2、ミニ講座9 敬語②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
10	中間テスト（JLPT 模試）
11	予習：聴解第5回、語彙 W3-4、ミニ講座10 敬語③、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
12	予習：読解第6回、漢字 W5-6、ミニ講座11 総まとめ①、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、読解問題・活動
13	予習：聴解第6回、漢字 W7-8、ミニ講座12 総まとめ②、 ディクテ、ミニ講座タスク、「ドリル&模試」実戦問題、聴解問題・活動
14	プロジェクトワーク：「行事紹介」
15	プロジェクトワーク：「行事紹介」ジグソー型で発表
16	期末テスト、Can-do 自己評価チェック
17	追再試、補講

科目の教育目標・授業計画 「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0109	科 目 名	社会人教養講座Ⅰ			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一			履修区分	選択
開講学年	2 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布			
成績評価	課題提出その他						

1. 授業概要

この講座では、社会人として第一歩を踏み出すに必要な、働くことの意味について次のテーマに従って分かりやすく解説します。

1) 労働法とは何か、2) 働き始める前に知っておかなければならないこと、3) 働くときのルール、4) 仕事を辞めるとき、辞めさせられるとき、5) 就職の仕組みに関して
講義は、講師側が一方的に話をして終わりという形ではなく、皆さんにも一緒に考えてもらい、質問も遠慮なくしていただきます。

2. 到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

3. 授業計画

前期	
1	2023 年はどういう年か。世界の人口は80億人。地球の誕生から。 人類の誕生から
2	世界の課題①地球温暖化 脱炭素
3	世界の課題②核戦力 広島でサミット
4	世界の課題③生物多様性
5	日本の課題①少子高齢化 人口は3分の2になってしまう
6	日本の課題②エネルギー確保が容易ではない
7	日本の課題③防衛力 地政学的な問題 防衛力
8	日本の課題④東京一極集中 地方の町村がなくなる
9	働くということ 1 残業は必要なのか 最低賃金とは
10	働くということ 2 正規か非正規か 働き方改革
11	働くということ 3 失業したら 仕事でけがをしたら
12	働くということ 解雇されたら
13	作文演習①
14	作文演習②
15	作文演習③
16	作文 演習」まとめ①
17	作文 演習」まとめ②

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0110	科 目 名	社会人教養講座Ⅱ			科目区分	兼任
科 目 群	教養	担当講師	天野 誠一			履修区分	選択
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	使用しない			教材・参考資料 適宜、資料配布			
成績評価	課題提出その他						

1. 授業概要

この講座では、社会の仕組み、そして今の日本が抱える諸課題について分かり易く説明するとともに、皆さんが学んだ専門知識や技術を存分に活用し、有意義な社会生活を送って行くために必要なノウハウを、アドバイスしていきます。

また、消費者教育として、個人の消費行動とそこの起こるトラブルについて認識し、新しいライフスタイルを主体的に選択し、創造できるようにする。

2. 到達目標

正しい情報をつかみ、判断力を養う。自分の考えをまとめ、積極的に発信していく。社会人としての教養を身につける。

3. 授業計画

後期	
1	人類の歴史 宇宙の歴史 物の見方
2	個人情報を守るか。IT時代
3	税金、年金、健康保険 知らないと損をする。
4	新聞の役割 社会に欠かせないもの
5	犯罪と日本の警察
6	会社の選び方 いい会社と悪い会社
7	自己アピールの方法 面接の心構え
8	エントリーシートのポイント
9	日本をどうアピールするか
10	危機管理の重要性 いざとなったらどうするのか
11	失敗から学ぶ ミスの原因 メモをする
12	作文演習 コロナ禍と各国の対応 どのように生きるか
13	作文演習 民主主義と選挙
14	作文演習 情報の信頼性 正しい情報はどこから得られるか
15	全体まとめ①
16	全体まとめ②
17	総復習

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0201	科 目 名	番組制作実習Ⅰ			科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	財津功 矢追孝男 藤田幸伸			履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	課題提出率50%、講義内容の理解度50%						

1. 授業概要

TVディレクターの職務内容、目的、基本技術、考え方を理解し身に付けると同時に、実習を通してクリエイティブ活動の面白さを体験していく。また実務経験教員である財津先生・矢追先生は、日本テレビで30年以上勤務、多くの番組をプロデューサー・ディレクターとして手掛けている。

2. 到達目標

企画書、構成台本、ロケ、収録、編集の5項目において、その基本技能を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	TVディレクターとは1
2	スマホで撮影・編集の仕方
3	30秒動画「私の好きなもの」1
4	30秒動画「私の好きなもの」2
5	講評
6	60秒動画「私の好きなもの」1
7	60秒動画「私の好きなもの」2
8	60秒動画「私の好きなもの」3
9	60秒動画「私の好きなもの」4
10	講評1
11	講評2
12	TVディレクターとは2
13	共感という考え方1
14	共感という考え方12
15	共感という考え方13
16	TVディレクターとは3
17	前期ふりかえり
後期	
1	2分動画「私の町」1
2	2分動画「私の町」2
3	2分動画「私の町」3
4	2分動画「私の町」4
5	2分動画「私の町」5
6	講評1
7	講評2
8	TVディレクターとは4
9	企画書1
10	企画書2
11	企画書3
12	自由課題動画1
13	自由課題動画2
14	自由課題動画3
15	講評1
16	講評2
17	TVディレクターとは5

科目の教育目標・授業計画「2023年度」					学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0202	科 目 名	制作技術講座		科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	梶田一郎、大橋立		履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	授業形態	実習
教 科 書	映像制作ハンドブック			参考書		
成績評価	試験 30%、課題 30%、レポート 20%、授業への貢献度 10%、出席率 10%					

1. 授業概要

制作者としての機材操作を習得し技術職との関わりを学習。また実務経験教員である梶田先生・大橋先生は、30年以上多くの番組をカメラマンとして手掛けている。

2. 到達目標

撮影技術を理解し、効率よい取材体制を組むことができる

3. 授業計画

前期	
1	テレビジョンとは、放送の仕組み
2	技術用語、撮影サイズの習得
3	制作カメラの基本操作1 機材庫利用方法・各機材説明・バッテリー充電法
4	制作カメラの基本操作2 三脚・カメラ電源・各スイッチの操作法
5	制作カメラの基本操作3 ホワイトバランス・シャッタースピード・ゲイン
6	制作カメラの基本操作4 録画モード設定・TC設定・収録媒体説明
7	制作カメラの基本操作4 音声入力説明
8	制作カメラの基本操作4 パン・チルト・ズーム・フォーカス
9	照明概論
10	基本撮影実習1 1S・2S・GS・FF・KS・WS・BS・UP等サイズの撮り方
11	技術会社との関わり&組織 スタジオ・中継・ロケ・ポストプロ
12	4K高画質制作&配信番組の仕組み
13	カット割り実習1 音楽番組用カット割り
14	カット割り実習2 音楽番組用カット割り
15	MVの作り方 特別講師：岩崎巨男
16	MV撮影実習1
17	MV撮影実習2
後期	
1	MV撮影実習3
2	MV撮影実習4
3	MV撮影実習5
4	MV撮影実習・編集～PV
5	高度な制作カメラ操作概論1 カメラマニュアル操作
6	高度な制作カメラ操作概論1 色温度・アイリス操作
7	音声概論 ワイヤレスマイク・ノイズマイク・ハンドマイク・ミキサー
8	特機操作実習 ドリー・クレーン・ドローン
9	高度な制作カメラ操作実習1 天気中継
10	高度な制作カメラ操作実習2 天気中継
11	高度な制作カメラ操作実習3 天気中継
12	高度な制作カメラ操作実習 天気中継講評
13	高度な制作カメラ操作実習 学校紹介ロケ実習1
14	高度な制作カメラ操作実習 学校紹介ロケ実習2
15	学校紹介ロケ実習講評
16	実技試験
17	実技試験講評 まとめ

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0203	科 目 名	制作美術講座			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	石附千秋			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	課題70%、平常点・授業への貢献度30%。						

1. 授業概要

番組・映像制作に欠かせない美術の仕事を理解し、美術を自分の強力な味方にするための基礎を学ぶ。
また実務経験教員である石附先生は、日本テレビで30年以上勤務、美術チーフとして多くの番組を手掛けている。

2. 到達目標

テレビにおけるデザインの利用の仕方、美術スタッフとの意思疎通の方法を身につける。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス / テレビ美術って何？
2	美術の仕事 (様々な美術の職種とその役割)
3	美術の仕事の流れ (番組制作の始めから終わりまで美術はどう動いているか理解する)
4	学生自己紹介 (自分を表現するキャラクターを考え、それを交えて自己紹介)
5	美術のコトバ1 (テレビ美術独特の言葉を覚え、美術とのコミュニケーションの下地を作る)
6	美術のコトバ2 (前週の続き)
7	季節を感じさせるデザインを見つける (デザインの役割の一端を知る)
8	いろいろなセットデザインを見る (セットデザインの実例を見ながら、デザインを見る目を養う)
9	照明について知る (美術に関係の深い照明の世界を知る)
10	美味しいと感じるデザインを見つける (感情に訴えかけるデザインを知る)
11	テロップデザイン・CGの世界 (平面デザインの仕事をを知る)
12	奥行のある空間を見つける (空間に意識を向け、身近にある空間に奥行を見つける。)
13	現場に潜む危険 (美術に関わる危険とその回避方法を知る)
14	音楽のイメージを絵で表現 (歌を聴いて感じた情景を絵にしてみる)
15	美術を発注する時のポイント / 図面の読み方 (美術とのコミュニケーションを円滑に行うために)
16	音楽セットをデザインしてみる (自分で描いたイメージ画をもとに歌セットをデザインしてみる)
17	身近な物を使ってセットのミニチュア空間を作ってみる (セット空間を立体で表現してみる)

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0204	科 目 名	テレビ音声講座Ⅰ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井 吉春			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	試験(筆記、実技)70%、授業への貢献度 30%						

1. 授業概要

ディレクターの立場からテレビ音声の役割を理解し、他の部署との協調性を常に保つよう心掛け、音声の魅力を習得する。また実務経験教員である荒井先生は、多くの番組を30年以上ミキサーとして手掛けている。

2. 到達目標

テレビ音声の重要性を理解する。
音声の基礎と機器の操作方法を身に付ける。

3. 授業計画

前期	
1	テレビ音声とは
2	音声機器について
3	マイクロフォンについて
4	ミキサーについて
5	収録機器について
6	ENG 実習 1
7	ENG 実習 2
8	ENG 実習 3
9	ENG 実習 4
10	情報番組について
11	情報番組について(CUE シート)
12	ドラマの音声 1
13	ドラマの音声 2
14	ドラマの音声 3
15	ポスプロについて 1
16	ポスプロについて 2
17	期末試験
後期	
1	MA とは 1
2	MA とは 2
3	MA 実習(MAC の使い方 1)
4	MA 実習(MAC の使い方 2)
5	MA 実習(ProTools 使い方 1)
6	MA 実習(ProTools 使い方 2)
7	ナレーション録り 1
8	ナレーション録り 2
9	スタジオ実習 1
10	スタジオ実習 2
11	効果音、選曲の方法 1
12	効果音、選曲の方法 2
13	ENG 実習
14	ENG 実習
15	ENG 実習
16	期末実技試験
17	期末筆記試験

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TV ディレクター学科
科目番号	0205	科 目 名	ノンリニア編集Ⅰ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	金津義則			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	6	授業形態	実習
教 科 書	(自作テキスト)			参考書			
成績評価	試験（前期期末筆記試験、後期期末実技試験）80%と授業内課題小テスト 10%と平常点や授業への貢献度 10%で評価						

1. 授業概要

授業では編集ソフト、プレミアプロの基本操作を修得し、様々な映像の編集技法と表現技術を学ぶことで編集の奥深さと面白さ、楽しさを理解する。また実務経験教員である金津先生は 30 年以上多くの番組を編集マンとして手掛けている。

2. 到達目標

ディレクターとして必要な映像演出のための構成力、創造力、表現力を身に付け、映像に対する感性を磨くことを目標とする

3. 授業計画

前期	
1	ノンリニア編集とは何か、編集ソフトの種類、番組制作における編集の役割等
2	ノンリニア編集システムの起動と準備、ハードディスクやタイムコードの説明
3	基本編集の実技（人物の動きの編集）
4	編集の概念（映像編集とは何か、編集の考え方、映像の構成について）
5	基本編集の実技（スピード感のある被写体の編集）
6	基本編集の実技（人物の動きの編集ロングバージョン）
7	編集の概念（カメラワークの意味を知る、起承転結と 5W1H を考える）
8	編集の概念（編集点を探る、カットの長さの適量、主観的映像と客観的映像とは）
9	基本編集の実技（天気素材の編集で感性の違いを知る）
10	基本編集の実技（イベント物、原稿のある編集）
11	基本編集の実技（イベント物、原稿のある編集）
12	編集の概念（イマジナリーラインとは、イマジナリーラインを越える手法）
13	基本編集の実技（イマジナリーラインを超えた会話物の編集）
14	基本編集の実技（イマジナリーラインを超えた会話物の編集）
15	基本編集の実技（タイトルスーパーの練習）
16	基本編集の実技（ナレーションのある編集、タイトルスーパーを入れる）
17	基本編集の実技（ナレーションのある編集、タイトルスーパーを入れる）
後期	
1	基本編集の実技（インタビューの編集、インサート編集、タイトルスーパーを入れる）
2	編集の概念（アクション編集の奥深さ、セリフの編集技法、時間操作とは）
3	応用編集の実技（トリムモードの練習、スローモーション等の練習）
4	応用編集の実技（スローモーションとナレーションのある編集）
5	応用編集の実技（スローモーションとナレーションのある編集）
6	応用編集の実技（トランジション、ワイプやオーバーラップの練習）
7	応用編集の実技（オーバーラップと BGM のある編集、音声のレベル調整）
8	応用編集の実技（オーバーラップと BGM のある編集、音声のレベル調整）
9	編集の概念（場面転換の技法）
10	応用編集の実技（拡大、縮小、エフェクト、キーフレーム等の練習）
11	応用編集の実技（拡大、縮小、エフェクト、キーフレーム等の練習）
12	応用編集の実技（ピクチャーインピクチャーのある編集）
13	編集の概念（クレショフ効果とモンタージュ理論）
14	評価課題の長尺編集（ナレーション、3 面マルチ、BGM、SE、タイトルスーパーのある編集）
15	評価課題の長尺編集（ナレーション、3 面マルチ、BGM、SE、タイトルスーパーのある編集）
16	評価課題の長尺編集（ナレーション、3 面マルチ、BGM、SE、タイトルスーパーのある編集）
17	素材の取り込み方法、編集分の書き出し方法、ノンリニア編集で起きうるトラブルの対処法等

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0206	科 目 名	デジタル映像制作Ⅰ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	大和拓			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	期末試験 10%×2。課題評価 40%。平常点や授業への貢献度 40%						

1. 授業概要

コンピューターを使って画像・映像処理をする基礎知識を学習する。
コンピューターの概念や基本操作を学ぶ。
また実務経験教員である大和先生は、30年以上多くの番組をデジタル担当として手掛けている。

2. 到達目標

主に Illustrator と Photoshop を使い作品を作りパソコン上で画像や映像の表現をできるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。パソコンの基礎知識。
2	Illustrator の基本操作解説①。
3	Illustrator の基本操作解説②。
4	Illustrator の基本操作解説③。
5	Illustrator の基本操作解説④。
6	Illustrator の基本操作解説⑤。
7	Photoshop の基本操作解説①。
8	Photoshop の基本操作解説②。
9	Photoshop の基本操作解説③。
10	自己紹介フリップを作る。
11	自己紹介フリップを作る続き。
12	架空のキャラメル箱をデザインする。
13	架空のキャラメル箱をデザインする続き。
14	Photoshop の基本操作解説④。
15	Photoshop の基本操作解説⑤。
16	前期のまとめ。
17	前期期末試験。
後期	
1	ハロウィンパーティー案内状を作る。
2	ハロウィンパーティー案内状を作る続き。
3	架空のショッピングモールを作る。
4	架空のショッピングモールを作る続き。
5	架空のショッピングモールを作る続き。
6	案内地図を書く。
7	案内地図を書く続き。
8	理想のリビングをデザインする。
9	理想のリビングをデザインする続き。
10	理想のリビングをデザインする続き。
11	時計の文字盤をデザインする。
12	時計の文字盤をデザインする続き。
13	テロップを飾る。
14	テロップを飾る続き。
15	テロップを飾る続き。
16	後期まとめ。
17	後期期末試験。

科目の教育目標・授業計画「2023年度」					学 科 名	TV ディレクター学科	
科目番号	0207	科 目 名	テレビ制作入門			科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	矢追孝男			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教 科 書	大学生のための動画制作入門:言いたいことを映像で表現する技術-2017/4/27 黒岩 亜純 (著), 宮 徹 (著) 慶應義塾大学出版会					参考書	
成績評価	レポート50%、平常点や授業への貢献度50%。						

1. 授業概要

テレビ制作者として何を大切に、どんなことに気を付けるべきか、「制作現場が欲しい人材・ともに働きたい仲間」とは何か、視聴率の仕組みやテレビ業界での就活の実際等、基本となる知識やスキルを身に付けていきます。また、放送だけでなく、YouTube等のネット動画環境も見据えた、映像制作の基本を、実践も交えて学んでいきます。担当教員は、テレビ局でのバラエティ番組のディレクター・プロデューサーとしての経験があり、経験に基づいてテレビ制作の授業を展開する。

2. 到達目標

テレビ制作者として、基本となる知識を身に付け、社会人としてのマナーや常識を踏まえた最低限の行動が取れるようになること。

3. 授業計画

前期	
1	テレビ番組の制作工程とその仕組み①
2	テレビ番組の制作工程とその仕組み②
3	テレビ番組の制作工程とその仕組み③
4	就活の基本① 就活スケジュール
5	就活の基本② エントリーシートとは
6	企画の立て方①
7	企画の立て方②
8	事前取材とロケハン①
9	事前取材とロケハン②
10	就活の基本③ 自己分析とは
11	就活の基本④ 自己分析とは
12	粗構成の考え方①
13	粗構成の考え方②
14	就活の基本⑤ 志望理由の書き方
15	就活の基本⑥ 志望理由の書き方
16	撮影—演出面から見た手法①
17	撮影—演出面から見た手法②
後期	
1	就活の基本⑦ 面接の練習
2	就活の基本⑧ 面接の練習
3	本構成を考える①
4	本構成を考える②
5	就活の基本⑨ グループディスカッションの練習
6	就活の基本⑩ グループディスカッションの練習
7	編集の技法①
8	編集の技法②
9	視聴率の基本①
10	視聴率の基本②
11	YouTube 動画制作実習①
12	YouTube 動画制作実習②
13	YouTube 動画制作実習③
14	就活の基本⑪ 就職先の探し方
15	就活の基本⑫ 履歴書の書き方
16	YouTube 動画制作実習④
17	YouTube 動画制作実習⑤

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TV ディレクター学科
科目番号	0208	科 目 名	就活文章講座Ⅰ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	中井信介			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	使用しない			参考書	プリント		
成績評価	提出作文など						

1. 授業概要

テレビ制作会社の就活でのエントリーシートや作文試験に焦点を合わせて、わかりやすい文章を書くことを演習形式で訓練する。また実務経験教員である中井先生は、NHK および日本テレビで30年以上勤務、多くの番組をプロデューサー・ディレクターとして手掛けている。

2. 到達目標

読み手にわかりやすくて意図がきっちり伝わる文章の書き方を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	あなたのことを全く知らない私にあなたをアピールして下さい。自己紹介ではありません。
2	あなたのことを全く知らない私にあなたをアピールして下さい。自己紹介ではありません。
3	作文を書くにあたり考えてもらうこと①
4	作文を書くにあたり考えてもらうこと②
5	① 作文を書く「自分をPRしてください」800字。
6	作文講評
7	作文講評
8	作文講評
9	「学生時代に力を入れたこと」の書き方①
10	「学生時代に力を入れたこと」の書き方②
11	自分の恥ずかしいところを書くことで自分をPRする方法。
12	② 作文を書く「学生時代に力を入れたこと」800字。
13	作文講評
14	作文講評
15	作文講評
16	履歴書の書き方①
17	履歴書の書き方②

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0209	科 目 名	就活文章講座Ⅱ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	中井信介			履修区分	選択必修
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	演習
教 科 書	使用しない			参考書	プリント		
成績評価	提出作文など						

1. 授業概要

テレビ制作会社の就活でのエントリーシートや作文試験に焦点を合わせて、わかりやすい文章を書くことを演習形式で訓練する。また実務経験教員である中井先生は、NHK および日本テレビで 30 年以上勤務、多くの番組をプロデューサー・ディレクターとして手掛けている。

2. 到達目標

読み手にわかりやすく意図がきっちり伝わる文章の書き方を習得する。

3. 授業計画

後期	
1	「私の失敗体験」の書き方について①
2	「私の失敗体験」の書き方について②
3	実践作文を書く「私の失敗体験」800 字。
4	作文講評
5	作文講評
6	作文講評
7	単語一文字タイトル「涙」という題の作文の書き方について
8	実践作文を書く「涙」800 字。
9	作文講評
10	作文講評
11	作文講評
12	実践作文を書く「私の作りたい番組について」800 字。
13	作文講評
14	作文講評
15	作文講評
16	エントリーシートの書き方①
17	エントリーシートの書き方②

科目の教育目標・授業計画「2023年度」					学 科 名	TV ディレクター学科	
科目番号	0210	科 目 名	ディレクター実技講座 I		科目区分	専任 実務経験教員	
科 目 群	専門	担当講師	大野哲哉 梶田一郎		履修区分	選択必修	
開講学年	1 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	レポート50%、平常点や授業への貢献度50%。						

1. 授業概要

ディレクターとは、番組を通して人を笑わせたり、泣かせたり、考えさせたりすることが仕事です。何十万人、何百万人という人々の心をつかみ、揺さぶり、動かすことが仕事です。そのためには熱い情熱と多くの知識や技術が求められます。それに基づいてカメラマンや照明・音声など大勢のスタッフはもちろんのこと、俳優やタレントなどの出演者にも的確な指示を出さなくてはなりません。では具体的にディレクターになるためにはどんなことが必要になるのでしょうか。その基本的な考え方からスタートし、ディレクター必須の様々な知識・技術までを通年で徹底的に学んでいきます。企画の立て方・台本の作り方・カット割り・カメラワーク・演出法・編集法など、これからディレクターとして活躍するために必要な基礎を分かりやすく体得してもらい講座です。また実務経験教員である大野先生は、日本テレビで 30 年以上勤務、多くの番組をプロデューサー・ディレクターとして手掛けています。

2. 到達目標

ディレクター必須の様々な知識・技術（企画・台本・カット割り・カメラワーク・演出法・編集法など）を体得すること。

3. 授業計画

前期	
1	<u>ディレクターはこんなに面白い:でもディレクターって何?入門編</u> ディレクターとは何をする仕事か、様々な映像を見て基礎を知ろう①
2	ディレクターとは何をする仕事か、様々な映像を見て基礎を知ろう②
3	ディレクターとは何をする仕事か、様々な映像を見て基礎を知ろう③
4	ディレクターとは何をする仕事か、様々な映像を見て基礎を知ろう④
5	<u>狙いを知れ:テレビの様々なジャンル・構造を知り、実際の番組の各演出を見つけてみよう</u> 演出とは何か?実際の番組映像を見て、その狙いや技術を感じ、知り、理解しよう①
6	演出とは何か?実際の番組映像を見て、その狙いや技術を感じ、知り、理解しよう②
7	演出とは何か?実際の番組映像を見て、その狙いや技術を感じ、知り、理解しよう③
8	演出とは何か?実際の番組映像を見て、その狙いや技術を感じ、知り、理解しよう④
9	<u>ディレクターとして最低限知っておかなければならないこと:基礎実技を身に付けよう</u> 企画発想、企画書作成、画コンテ、カット割り、撮影、編集、音付け等の基礎実技を学ぼう①
10	企画発想、企画書作成、画コンテ、カット割り、撮影、編集、音付け等の基礎実技を学ぼう②
11	企画発想、企画書作成、画コンテ、カット割り、撮影、編集、音付け等の基礎実技を学ぼう③
12	企画発想、企画書作成、画コンテ、カット割り、撮影、編集、音付け等の基礎実技を学ぼう④
13	<u>では自分で具体的に演出をしてみよう:ディレクター演出実践編→自分に何が足りないかを知ろう</u> ディレクター演出実践入門:ショート動画を撮って実際に基礎的な構成・演出してみよう①
14	ディレクター演出実践入門:ショート動画を撮って実際に基礎的な構成・演出してみよう②
15	ディレクター演出実践入門:ショート動画を撮って実際に基礎的な構成・演出してみよう③
16	ディレクター演出実践入門:ショート動画を撮って実際に基礎的な構成・演出してみよう④
17	前期総復習(ディレクター入門編がきちんと身についたか総点検しましょう)
後期	
1	<u>基礎実践編:実際の番組から具体的な演出技法を学び、身に付けよう(情報バラエティ・ロケ番組編)</u> 実際の情報バラエティ・ロケ番組から演出技法の基礎を学び、身に付けよう①
2	実際の情報バラエティ・ロケ番組から演出技法の基礎を学び、身に付けよう②
3	実際の情報バラエティ・ロケ番組から演出技法の基礎を学び、身に付けよう③
4	実際の情報バラエティ・ロケ番組から演出技法の基礎を学び、身に付けよう④
5	<u>基礎実践編:実際の番組から具体的な演出技法を学び、身に付けよう(映画・ドラマ・CM 編)</u> 実際の映画・ドラマ・CM から演出技法の基礎を学び、身に付けよう①
6	実際の映画・ドラマ・CM から演出技法の基礎を学び、身に付けよう②
7	実際の映画・ドラマ・CM から演出技法の基礎を学び、身に付けよう③
8	実際の映画・ドラマ・CM から演出技法の基礎を学び、身に付けよう④

9	<u>基礎実践編:実際の番組から具体的な演出技法を学ぼう(ドキュメンタリー編)</u> 実際のドキュメンタリーから演出技法の基礎を学び、身に付けよう①
10	実際のドキュメンタリーから演出技法の基礎を学び、身に付けよう②
11	実際のドキュメンタリーから演出技法の基礎を学び、身に付けよう③
12	実際のドキュメンタリーから演出技法の基礎を学び、身に付けよう④
13	<u>己を知る:どんなディレクターになりたいか? 自分に向いている演出の方向性を探ろう</u> 何を目指すか:ディレクターとしての自分の適性・方向性・やりたいことを探す具体的な実技作業①
14	何を目指すか:ディレクターとしての自分の適性・方向性・やりたいことを探す具体的な実技作業②
15	何を目指すか:ディレクターとしての自分の適性・方向性・やりたいことを探す具体的な実技作業③
16	何を目指すか:ディレクターとしての自分の適性・方向性・やりたいことを探す具体的な実技作業④
17	総復習・総点検(ディレクターの基礎は身に付きましたか。2年生に向けての準備)をしましょう。

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TV ディレクター学科
科目番号	0211	科 目 名	インターンシップ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	金田 和樹 矢追孝男			履修区分	選択
開講学年	1 年	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	報告書 100%						

1. 授業概要

2週間程度の番組制作現場体験研修を実施。実践で制作を体感する。

2. 授業計画

前期	
	【研修内容】 制作会社の現場に参加。日々の報告をおこない、終了後、レポートを提出。

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0212	科 目 名	番組制作実習Ⅱ			科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	雨宮秀彦 金田和樹			履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	平常点 50% 実習課題 50%						

1. 授業概要

テレビ番組など映像コンテンツを制作し発表するための基本スキルや心構えを、実習を通して身につける。合わせてそこで関連性するコンプライアンスについても理解できるようにする。また実務経験教員である雨宮先生は、日本テレビで30年以上勤務、多くの番組をプロデューサー・ディレクターとして手掛けている。

2. 到達目標

・企画作りが出来るようになる ・構成台本を作成出来るようになる ・ロケやスタジオ収録の演出業務を習得する ・編集やMAの基本スキルを習得する ・YouTubeチャンネルの運営方法を理解する ・チームで制作する時のノウハウや心構えを理解する。

3. 授業計画

前期	
1	映像業界の現状と将来についての講義
2	企画の作り方
3	著作権に関する基本知識
4	構成の作り方
5	台本の作り方
6	ロケに関する基本知識
7	ロケの準備の仕方
8	ロケの仕方
9	Premiere Proを使った編集に関する基本知識
10	Premiere Proを使った編集の仕方
11	Premiere Proを使ったMAの仕方
12	スタジオ台本の作り方
13	美術スタッフとの連携の仕方
14	技術スタッフとの連携の仕方
15	スタジオ収録の準備の仕方
16	スタジオ収録の仕方
17	YouTubeチャンネルの運営方法

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0213	科 目 名	ドラマ制作実習			科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	金田和樹			履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	6	授業形態	実習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	提出課題 60% 授業姿勢 20% 出席 20%						

1. 授業概要

ドラマ制作の基礎を学ぶことにより、ドラマのみならずバラエティーの再現シーンなども含め、いろいろな番組制作に対応できるような考え方・手法を身につける。チームの中で役割を果たすことや、状況に応じての対応など、実践的に行動することを意識しつつ、さらに、発展させて考えられるようになる。そして、社会に出ていく上で「企業が欲しい人材・ともに働きたい仲間」とは何か、特にテレビ制作者として何を大切にし、どんなことに気を付け、今後を見据えていくか、自ら考察できるよう導く。また実務経験教員である金田先生は、日本テレビで30年以上勤務、多くの番組をプロデューサー・ディレクターとして手掛けている。

2. 到達目標

ドラマを通じ、社会人になった時に制作現場で自ら進んで判断・行動できるように、経験を積む。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス。ドラマとは何か、考え方、総論。
2	ドラマの企画書。発想。アピールポイント。
3	企画書に込められた制作者の思い・熱意。
4	企画書。表紙の作り方。企画意図について。リサーチ。
5	企画書。登場人物の掘り下げ。履歴書作り。
6	企画書。ストーリーの書き方。
7	企画書講評。
8	台本作成。柱の立て方。
9	台本作成。セリフとト書き。
10	台本作成。主観と客観。
11	コンテ作成。サイズとアングル。
12	コンテ作成。アクションカット。
13	コンテ作成。ドリー、ズーム、パンワーク。
14	編集。基本のつなぎ。ズリ上げ、ズリ下げ。
15	編集。様々な手法。
16	MA、音楽、効果音。フェードとカット。
17	前期ふりかえり。
後期	
1	ディレクター論、演出プラン、判断と統率。
2	スタッフ論、制作スケジュール、予算や許可申請。
3	美打ち、ロケハンについて。
4	ミニドラマ企画、役割分担。
5	ミニドラマ台本作成1。
6	ミニドラマ台本作成2。
7	ミニドラマロケハン・美打ち。
8	ミニドラマリハーサル。
9	ミニドラマ撮影。
10	ミニドラマ編集。講評。
11	卒業制作ドラマ1。
12	卒業制作ドラマ2。
13	卒業制作ドラマ3。
14	卒業制作ドラマ4。
15	卒業制作ドラマ5。
16	卒業制作ドラマ6。
17	卒業制作ドラマ講評。ドラマ制作経験を生かすために、まとめ。

科目の教育目標・授業計画「2023年度」					学 科 名	TV ディレクター学科	
科目番号	0214	科 目 名	撮影技術講座			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	榎本悟			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	通期	単位数		授業形態	実習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	試験 50%、レポート 25%、授業への貢献度 25%						

1. 授業概要

制作の現場でカメラを回す機会が多くなっているため、1人でカメラ撮影できるようにする。また実務経験教員である榎本先生は、30年以上、多くの番組をカメラマンとして手掛けている。

2. 到達目標

一人でロケに出て番組制作に必要な素材を撮影できるようになること

3. 授業計画

前期	
1	カメラの基礎知識 カメラの構造 三脚の立て方
2	カメラの基礎知識 カメラの構造 三脚の立て方
3	カメラの基礎知識 カメラの構造 三脚の立て方 音声機材の使い方
4	カメラの操作 ピントを合わせる ズームイン・ズームアウトの練習
5	カメラの操作 ピントを合わせる ピントの合わせ方 パーンの練習
6	カメラの操作 ピントの合わせる パーンの練習
7	制作現場における略語、用語の説明
8	カメラの操作 ラジコンカーの撮影 ピント・パーン・ズームイン・ズームバック
9	カメラ説明 カメラメニュー内容説明
10	実習 模擬記者会見の撮影
11	実習 模擬囲みインタビュー撮影
12	実習 イマジナリーラインを理解する
13	実習 照明の当て方 3点照明
14	実習 照明の当て方 3点照明 物撮り
15	実技試験・筆記試験のテスト対策 三脚の立て方 マイクの繋ぎ方 照明の当て方
16	実技試験
17	実技試験
後期	
1	実技テスト振り返り 不正解箇所確認
2	実習 3 カメラ回しの撮影
3	実習 3 カメラ回しの撮影
4	実習 街録
5	実習 街録
6	実習 模擬天気入り中継
7	実習 被写界深度、WB の使いこなし
8	実習 アングル、カメラサイズによる映像表現の方法
9	実習 移動ショット撮影 ドリー使用、ミニジブ使用 ①
10	実習 移動ショット撮影 ドリー使用、ミニジブ使用 ②
11	実習 2分1CUT 撮影
12	実習 学校内紹介Vの制作
13	実習 学校内紹介Vの制作
14	完成作品試写、意見交換
15	実技試験・筆記試験のテスト対策 テーマに沿った撮影
16	実技試験
17	実技試験

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0215	科 目 名	テレビ音声講座Ⅱ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	荒井吉春			履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	2	授業形態	実習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	試験(筆記、実技)70%、授業への貢献度 30%						

1. 授業概要

前期ではCM作りや編集済み作品の整音、ナレーション、音楽効果音付けに関して学ぶ。
後期では作品の音のバランスについて学び理解する。
ディレクターとして音声など技術スタッフに指示するための基礎知識を身につける。
また実務経験教員である荒井先生は、30年以上、多くの番組をミキサーとして手掛けている。

2. 到達目標

マイクの特性や音響機器について学び、收音の方法を理解する。
テレビの音の魅力を理解し、視聴者に分かり易い音作りが出来るようになる。

3. 授業計画

前期	
1	30秒CM企画
2	30秒CM作り1
3	30秒CM作り2
4	30秒CM作り3
5	30秒CM作り4
6	30秒CM MA 実習(ProTools)
7	30秒CM MA 実習(ProTools)
8	ENG 実習
9	ENG 実習
10	アテレコ録り1
11	アテレコ録り2
12	スタジオ実習
13	スタジオ実習
14	MA 実習
15	MA 実習
16	期末実技試験
17	期末筆記試験
後期	
1	MA 実習(ProTools 使い方)
2	MA 実習(ProTools 使い方)
3	MA 実習(ProTools 使い方)
4	ENG 実習
5	ENG 実習
6	ENG 実習
7	ENG 実習
8	スタジオ実習
9	スタジオ実習
10	スタジオ実習
11	スタジオ実習
12	スタジオ実習
13	MA 解説(情報番組にてのMA)
14	MA 解説(バラエティー番組にてのMA)
15	MA 解説(ドラマにてのMA)
16	期末実技試験
17	期末筆記試験

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TV ディレクター学科
科目番号	0216	科 目 名	ノンリニア編集Ⅱ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	谷崎健一			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態.	実習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）50%、制作動画提出 50%						

1. 授業概要

1 年次に習得した編集知識を、現役エディターによる生の目線で、より実践に近い状況をシミュレーションし演出家としてスタートする際、編集行程において即戦力となる人材を育てる。編集ソフトの操作方法を、特に演出家が使用する機能に重点を置き、解説します。また実務経験教員である谷崎先生は、30 年以上、多くの番組を編集マンとして手掛けている。
--

2. 到達目標

編集ソフトの知識だけでなく 授業実習で、実機での操作に慣れ、就業時に即戦力となる事を目標とする。

3. 授業計画

前期	
1	1 年時 履修部分の確認 復習
2	実際の編集テクニック 有効な手段を重点的に
3	実地作業のための材料 収録
4	収録素材を活用したキャプチャー作業実践 TAPE 素材のケース
5	収録素材を活用したキャプチャー作業実践メディアファイル素材のケース
6	オフライン実践 カット編集における演出効果を講義しながら。
7	オフライン実践 マルチカメラ編集における演出効果を講義しながら。
8	オフライン実践 クロマキー合成の編集における演出効果、また撮影時の注意点。
9	VTR 編集とノンリニア編集の違い メリットとデメリット テレビ制作現場の現状
10	メディア管理について。TAPE の寿命 SD カードや HD の寿命と保管方法
11	特殊効果（爆破）などの合成を想定した収録のテクニックと合成編集のノウハウ
12	テロップ作成方法と主要ソフトの特色と現状（DEKO フォトショップ）
13	AV I D D S スタジオを利用してノンリニア編集ワークフローの紹介 そして演出家が指揮する方法実践 編集スタジオを実際に利用し後期授業の理解度を高める
14	実地作業における個々の作品の発表と意見交換
15	実地作業における個々の作品の発表と意見交換。講師から編集アイディアを提案
16	練習用動画撮影と注意点（スマホ活用法）
17	練習用動画を利用した動画編集実践
後期	
1	DVD Bluray 作品、またはスマホ用の動画コンテンツ作品のためのコツ
2	フォント利用 フリー素材利用における著作権等の注意点
3	編集時に露見するトラブル等、事例を紹介
4	タイムコードを活用した編集術
5	音楽作品の編集テクニック
6	ドラマ作品の編集テクニック 実践
7	バラエティー作品の編集テクニック 実践
8	4K 8K 開発の現状 展望
9	VTR 編集の方法
10	OMF EDLAAF AFE MX F データの書き出し
11	アビッドまたはプレミアを利用した編集テクニック キャプチャー編
12	アビッドまたはプレミアを利用した編集テクニック 編集実践
13	卒業制作作品 制作過程でのフォローと対応策
14	卒業制作作品 制作過程での予測できるトラブル等の対処方法
15	エディウス リゾルブ等 ノンリニア編集ソフトの特徴を解説
16	動画メディア 書き出し方法と用途と形式による違いを解説

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TVディレクター学科
科目番号	0217	科 目 名	デジタル映像制作Ⅱ			科目区分	兼任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	大和拓			履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	演習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	期末試験 10%×2。課題評価 40%。平常点や授業への貢献度 40%						

1. 授業概要

コンピュータを使って画像・映像処理をする基礎知識を学習する。コンピュータの概念や基本操作を学ぶ。また実務経験教員である大和先生は、30年以上、多くの番組をデジタル担当として手掛けている。

2. 到達目標

主に After Effects を使い作品を作りパソコン上で画像や映像の表現をできるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	授業内容のガイダンス。
2	After Effects の基本操作解説①。
3	時計を動かす。
4	時計を動かす続き。
5	観覧車を動かす。
6	観覧車を動かす続き。
7	ムービーの書き出し方。
8	踊る名前。
9	走る動物。
10	走る動物続き。
11	惑星と衛星。
12	直方体を作る。
13	直方体を作る続き。
14	光の軌跡。
15	光の軌跡続き。
16	前期のまとめ。
17	前期期末試験。
後期	
1	光る剣を振ってみる。
2	光る剣を振ってみる続き。
3	光る剣を振ってみる続き。
4	エフェクト解説①。
5	エフェクト解説②。
6	スタメン発表。
7	スタメン発表続き。
8	スタメン発表続き。
9	スタメン発表続き。
10	スタメン発表続き。
11	架空のテレビ番組のオープニングを作る。
12	架空のテレビ番組のオープニングを作る続き。
13	架空のテレビ番組のオープニングを作る続き。
14	架空のテレビ番組のオープニングを作る続き。
15	架空のテレビ番組のオープニングを作る続き。
16	後期まとめ。
17	後期期末試験。

科目の教育目標・授業計画「2023年度」					学 科 名	TVディレクター学科	
科目番号	0218	科 目 名	ディレクター実技講座Ⅱ			科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	矢迫孝男 大野哲哉			履修区分	選択必修
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	8	授業形態	演習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	レポート50%、平常点や授業への貢献度50%。						

1. 授業概要

この講座では、1年生で学んだディレクター基礎知識を制作現場で具体的に生かせるよう、きわめて実戦的な授業を展開していきます。実際の現場と同様のシチュエーションを毎回設定し、この時にディレクターとしてどう動くべきか、どう考えるべきか、どんな指示を出すべきなのかを実例・実制作に基づいて分かりやすく学んでいきます。ドラマ、バラエティ、ドキュメンタリー、スタジオ収録、生放送、映画監督、YouTube制作などあらゆるジャンルで通用する演出ノウハウを通年で体得していきます。この講座で学んだ知識・技術・経験は、今すぐ本物の番組制作現場に飛び込んだとしても役立つようなものばかりです。特にスタジオでのワークには力を入れます。また実務経験教員である大野先生は、日本テレビで30年以上勤務、多くの番組をプロデューサー・ディレクターとして手掛けています。

2. 到達目標

ディレクターとしてどう動くべきか、どう考えるべきか、どんな指示を出すべきなのかを体得、今すぐ本物の番組制作現場に飛び込んでも役立つよう“生の演出テクニック”を実技として体験し、完全マスターする。

3. 授業計画

前期	
1	<u>あらためてディレクターとは何をする仕事か～復習と発展応用</u> ディレクターに最も必要なテクニックとは？①(感動を発見する具体的な技術)
2	ディレクターに最も必要なテクニックとは？②(感動を人に伝える具体的な技術)
3	映像を見て様々な番組の高度な演出テクニックを見抜き、理解し、体得する～上級編①
4	映像を見て様々な番組の高度な演出テクニックを見抜き、理解し、体得する～上級編②
5	<u>超シミュレーション演出実技・実践編(情報バラエティ・ロケ番組の場合)</u> 明日から使える:情報バラエティ・ロケ番組の現場演出テクニックを本気で実践してみよう①
6	明日から使える:情報バラエティ・ロケ番組の現場演出テクニックを本気で実践してみよう②
7	明日から使える:情報バラエティ・ロケ番組の現場演出テクニックを本気で実践してみよう③
8	明日から使える:情報バラエティ・ロケ番組の現場演出テクニックを本気で実践してみよう④
9	<u>超シミュレーション演出実技・実践編(ドラマ・映画・CMの場合)</u> 明日から使える:ドラマ・映画・CMの現場演出テクニックを本気で実践してみよう①
10	明日から使える:ドラマ・映画・CMの現場演出テクニックを本気で実践してみよう②
11	明日から使える:ドラマ・映画・CMの現場演出テクニックを本気で実践してみよう③
12	明日から使える:ドラマ・映画・CMの現場演出テクニックを本気で実践してみよう④
13	<u>超シミュレーション演出実技・実践編(ドキュメンタリーの場合)</u> 明日から使える:ドキュメンタリーの現場演出テクニックを本気で実践してみよう①
14	明日から使える:ドキュメンタリーの現場演出テクニックを本気で実践してみよう②
15	明日から使える:ドキュメンタリーの現場演出テクニックを本気で実践してみよう③
16	明日から使える:ドキュメンタリーの現場演出テクニックを本気で実践してみよう④
17	前期の総復習(各種演出テクニックを完全に自分のものにしておきましょう)
後期	
1	<u>身体で覚える超実践講座:ディレクターこんな時…さあどうする?企画・リサーチ・交渉・ロケハン編</u> 企画・リサーチ・交渉・ロケハンで使える実戦演出準備テクニックを身体に叩き込もう①
2	企画・リサーチ・交渉・ロケハンで使える実戦演出準備テクニックを身体に叩き込もう②
3	企画・リサーチ・交渉・ロケハンで使える実戦演出準備テクニックを身体に叩き込もう③
4	企画・リサーチ・交渉・ロケハンで使える実戦演出準備テクニックを身体に叩き込もう④
5	<u>身体で覚える超実践講座:ディレクターこんな時…さあどうする?現場ロケ・収録編</u> 現場(技術・制作・出演者)への指示はどう出すか?実戦ロケ演出テクニックを身体に叩き込もう①
6	現場(技術・制作・出演者)への指示はどう出すか?実戦ロケ演出テクニックを身体に叩き込もう②
7	現場(技術・制作・出演者)への指示はどう出すか?実戦ロケ演出テクニックを身体に叩き込もう③
8	現場(技術・制作・出演者)への指示はどう出すか?実戦ロケ演出テクニックを身体に叩き込もう④

9	身体で覚える超実践講座:ディレクターこんな時…さあどうする？編集・MA・仕上げ編 編集・MA・仕上げでもう1ランク上の番組を作る実戦完パケ演出テクニックを身体に叩き込もう①
10	編集・MA・仕上げでもう1ランク上の番組を作る実戦完パケ演出テクニックを身体に叩き込もう②
11	編集・MA・仕上げでもう1ランク上の番組を作る実戦完パケ演出テクニックを身体に叩き込もう③
12	編集・MA・仕上げでもう1ランク上の番組を作る実戦完パケ演出テクニックを身体に叩き込もう④
13	制作現場突入直前、明日困らないためのディレクター実技総復習・総点検編 春から役立つ超実戦演出シミュレーション、最終トレーニング①
14	春から役立つ超実戦演出シミュレーション、最終トレーニング②
15	春から役立つ超実戦演出シミュレーション、最終トレーニング③
16	春から役立つ超実戦演出シミュレーション、最終トレーニング④
17	一年間の総復習(すべての不安を解消しましょう。これであなたも明日から一人前のディレクターです。)

科目の教育目標・授業計画「2023年度」						学 科 名	TV ディレクター学科
科目番号	0219	科 目 名	卒業制作			科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門	担当講師	雨宮秀彦 金田和樹			履修区分	選択必修
開講学年	2 年	開講学期	後期	単位数	4	授業形態	実習
教 科 書	使用しない			参考書			
成績評価	平常点 50% 実習課題 50%						

1. 授業概要

テレビ番組など映像コンテンツを制作し発表するための基本スキルや心構えを、実習を通して身につける。合わせてそこで関連性するコンプライアンスについても理解できるようにする。また実務経験教員である雨宮先生は、日本テレビで30年以上勤務、多くの番組をプロデューサー・ディレクターとして手掛けている。

2. 到達目標

・企画作りが出来るようになる ・構成台本を作成出来るようになる ・ロケやスタジオ収録の演出業務を習得する ・編集やMAの基本スキルを習得する ・YouTubeチャンネルの運営方法を理解する ・チームで制作する時のノウハウや心構えを理解する

3. 授業計画

後期	
1	チーム制作に関する基本知識
2	チームで企画をまとめる方法
3	チームで構成を作る方法
4	チームで台本を作る方法
5	チームでロケをする際の基本知識
6	チームでロケの準備をする方法
7	チームでロケをする方法
8	Premiere Proを使った編集に関する応用知識
9	Premiere Proを使った編集の仕方・応用編
10	Premiere Proを使ったMAの仕方・応用編
11	チームでスタジオ台本を作る方法
12	美術スタッフとの連携の仕方
13	技術スタッフとの連携の仕方
14	チームでスタジオ収録の準備をする方法
15	チームでスタジオ収録をする方法
16	本編オフラインの仕方
17	業界の今後、ディレクターとしての姿